

2017年度以前入学生対象
ディプロマ・ポリシー
(学位授与の方針)

薬学部は、建学の精神「報恩感謝」を基に、「科学的な専門知識と技能および実践力、高い倫理性と豊かな人間性を併せ持つ薬剤師の育成」を教育目標に定めている。この目標を達成するために、学習成果基盤型教育に力点を置き、次のような方針で教育課程を編成する。なお、カリキュラムの全体像、ディプロマ・ポリシーと各授業の関連性、6年間での学習の流れは、カリキュラムツリーおよびカリキュラムマップで明示している。

1. 医療の担い手として、地域や社会を担う社会人にふさわしい幅広い教養と生命の尊厳についての深い認識をもち、薬剤師の義務及び法令を遵守し、人の命と健康な生活を守る使命感、責任感及び倫理観を有する。
2. 薬の専門家としての知識・技能・態度を有し、薬物療法における安全で有効な医薬品の使用を推進するための薬学的管理に関する実践能力および問題発見・解決能力を備え、常に患者さん・生活者の立場に立って行動ができる。
3. 医療人としての責任を自覚し、患者さん・生活者、他職種の人々と主体的に連携するコミュニケーション能力を持ち、人々の健康増進および公衆衛生の向上に貢献する能力を有する。
4. 医療や科学の変化や高度化に対応して高い知識と技能を修得するよう、生涯にわたって自己研鑽を続ける意欲と態度を有する。